

MacOS10.15(Catlina)へのアップデートについての注意喚起

MacOS のバージョンを最新の 10.15(Catlina)にアップデートすることにより、総持寺キャンパスでは PCClient ツールの再インストールが必要になります。また、その他の 32bit 版のアプリケーションも使用できないことが予想されます。なので、現在バージョンが 10.14(Mojave)以前の場合は、10.15(Catlina)にアップデートしないことを推奨します。ここでは自動で 10.15(Catlina)にアップデートしないようにする方法をご説明します。

●設定方法

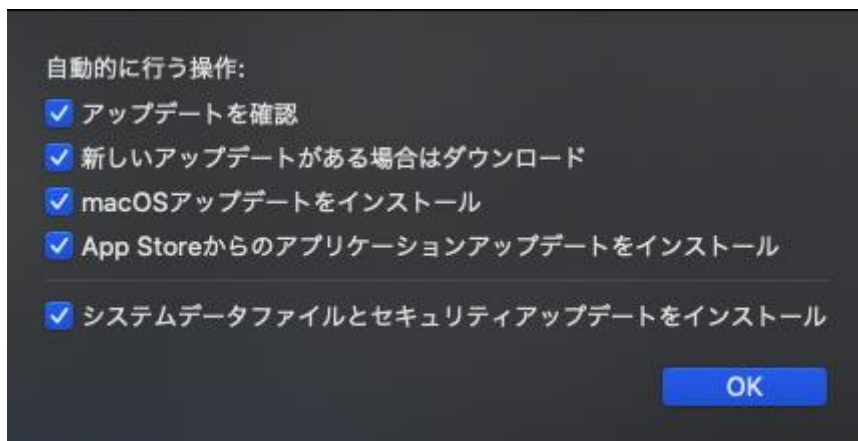
1. 左上のアップル社のマークをクリックした後、システム環境設定をクリックします。



2. システム環境設定ウィンドウが開くのでソフトウェアアップデートのマークをクリックします。



3. アップデートに関する詳細設定が開きます。初期設定では全項目にチェックが入っている場合があります。



4. 「アップデートを確認」、「システムデータファイルとセキュリティアップデートをインストール」のみにチェックを入れて、OK ボタンを押します。

この設定を実施することで MacOS が自動でアップデートされることはなく、セキュリティ関連やその他修正ファイルのみ自動でアップデートされます。

